

【樹木の部屋】

ルリマツリ (イソマツ科ルリマツリ属 *Plumbago auriculata*)

和名：ルリマツリ (瑠璃茉莉) **別名**：アオマツリ (青茉莉)、プルンバゴ

英名：Leadwort Cape、Plumbago¹

ナデシコ目 低木 **原産地**：南アフリカ

花言葉：いつも明るい、ひそかな情熱 **花色**：白、青、紫、



←↘ 写真-1、2 ルリマツリ
(ブルームーン)
撮影日：2013年7月17日
撮影場所：インスブルック
(オーストリア)にて
撮影者：M さん



←



← 写真-3 ルリマツリの茎と葉
撮影日：2013年7月17日
撮影場所：インスブルック
(オーストリア)にて
撮影者：M さん

オーストリアのインスブルックにある王宮庭園散策中に見かけました。ルリマツリの「ルリ」は花色から、「マツリ」は花姿がマツリカ(ジャスミン)に似ているとこ

ろに由来するそうです。初夏から晩秋まで長期間にわたって次々と開花し、寒さにも強く、東京でもよく戸外で冬越するそうです。半つる性の低木で本来は常緑性ですが、日本では冬の寒さでばっさり葉が枯れることも多いそうです。

幹は直立し、枝分かれし、先端はややつる状になります。葉は互生し、単葉で長楕円形またはへら形で、鈍頭ですが、先端はやや尖ります。短い葉柄を持ち縁は全縁で托葉があります。

花期になると、分枝した枝先、または上部の葉腋から短い穂状の花序出し、多数の花を咲かせます。花冠は先が5裂する高盆形で、花筒部は細い漏斗状です。

ルリマツリの花を次々と咲かせるためには、咲き終わった花柄を早めに取り出すことが大切です。咲き終わった花の花首からこまめに摘み取ると良いそうです。切るときは、新しい花芽が出てきている部分を見つけてその上の部分でカットすると、すぐに次の花が咲くそうです。

挿し木(挿し芽)で増やすのが一般的だそうですが、根茎で増やすこともできるそうです。

<ちょっと一言>

* 多年生草本とする文献もあります。

* 白色の品種「アルバ」もあるそうです。